News Release

2015 年 8 月 24 日

リアルテック育成ファンドに新たな出資企業が参加

電通、東京センチュリーリース、協和発酵キリン、藍澤證券が加わり計 12 社、ファンド規模は 36 億円に

合同会社ユーグレナＳＭＢＣ日興リバネスキャピタル

合同会社ユーグレナＳＭＢＣ日興リバネスキャピタル（本社：東京都港区、代表：永田暁彦、以下 ESL）は、次世代先端技術を開発する研究開発型ベンチャー企業の支援を行うことを目的にしたベンチャーキャピタルファンド「次世代日本先端技術育成ファンド（通称：リアルテック※育成ファンド）」に、出資者として株式会社電通、東京センチュリーリース株式会社、協和発酵キリン株式会社、藍澤證券株式会社が新たに加わったことをお知らせいたします。今回の新規加入により、出資企業は当初（2015 年 4 月）の 8 社から 4 社増え、計 12 社となり、ファンド総額は 36 億円となります。

なお、リアルテック育成プログラムとは、リアルテック育成ファンドへの出資者である各事業会社がファンドを通じた資金のみではなく、経営ノウハウや施設・設備の提供、共同での研究や事業開発の実施、人材の支援などより研究開発型ベンチャー企業の育成を行う新たな形の投資ファンドです。

※リアルテックとは：WEB 上のみで完結しない、物理的な技術開発を伴う技術のこと。ロボティクス、バイオ、アグリ、エネルギー、IoT 等の物理的な技術。

リアルテック育成ファンドと新加入各社の役割について

■新加入各社の主な役割

電通	：ベンチャー企業のブランディング、プロモーションの支援
東京センチュリーリース	：研究開発型ベンチャー企業への金融面での支援
協和発酵キリン	：医薬品やヘルスケア領域における共同研究、ノウハウ支援
藍澤證券	：研究開発型ベンチャーの発掘や大企業の連携支援

■既存参加企業の役割

ユーグレナ	：バイオ、アグリ領域における共同研究、事業化支援
ＳＭＢＣ日興証券	：上場準備体制構築、大企業連携・紹介支援
リバネス	：シード・アーリーのベンチャー企業を対象とした育成プログラムの提供
日本たばこ産業	：ヘルスケア分野等の研究・ベンチャー企業の支援
三井不動産	：研究開発拠点、オフィス等のファシリティ支援
吉野家 HD	：飲食業への展開や農業、畜産技術に関するノウハウ支援
ロート製薬	：医薬品やヘルスケア領域における共同研究、ノウハウ支援
鐘通	：研究開発型ベンチャー企業の製品販売などを通じた支援

■リアルテック育成ファンドについて（HP：www.euglena-investment.jp）

ユーグレナ社の 100%子会社であるユーグレナインベストメント、ＳＭＢＣ日興証券、リバネスが 3 社で設立した「合同会社ユーグレナＳＭＢＣ日興リバネスキャピタル」が管理運営するベンチャーキャピタルファンドで、リアルテックベンチャーの投資育成を主目的としています。参加企業は計 12 社、ファンド規模は 36 億円となり、2015 年内には参加社を増加し 50 億円以上のファンドとすることを目指します。

以上